

講義名	商品開発特別研究A / 商品開発特別研究			授業形態	
担当教員	後藤 こそ恵		開講期・曜日・時限	後期 金曜日 4時限	
	単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード CSM250

主題と概要

消費者にとって価値ある商品を開発する上で必要となる基本的な考え方やプロセスを学ぶ。ライフスタイルの多様化している現代社会において、消費者のニーズは以前にも増して複雑化している。そのような中で、消費者の顕在的・潜在的ニーズを把握し、既存の資源を組み合わせ、価値ある商品・サービスを立案する力が求められている。このような問題意識に基づき、本講義では主体的に考え、知識を知恵に変えられる力を身につけるためのトレーニングを行う。

到達目標

この授業で取り組む課題を通じて、課題を発見する力、課題を分析する力、企画を立案する力を高められる。そのことにより、各種社会共創プロジェクトにおいて必要とされる知識・技能を身につけることができる。

提出課題

毎回の授業で実施する取り組み内容について、各個人での課題提出を求める

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出内容についてのコメントを適宜フィードバックする。

評価の基準

最終課題提出 = 50%
 毎回の課題提出 = 50%
 グループワークで1つの企画を進めていくため、授業コマ3回以上の欠席で受講資格を失うものとする。ただし、公欠届を提出した場合はその限りではない。

履修にあたっての注意・助言他

特定の社会共創プログラムに参加するため、時間割上の設定コマ以外にも活動する。
 マーケティング関係の科目の受講経験がある、もしくは同時に受講していることが望ましいが、必須ではない。
 マーケティング関連の授業を履修するにあたっては、普段から経済ニュースに触れておくことが望ましい。日経テレコン(学内PCよりアクセス可)において日経流通新聞などを読む習慣をつけることで学んだ理論を具体的な事象に落とし込んで理解できるようになるだろう。また、同様の現象を異なる場面で観察したときその背景について考察することも可能である。その他、テレビ東京の経済番組(ニュース、ドキュメンタリー)についても学ぶところが多いので履修をお勧めする。

教科書	.1からの商品企画.	西川・廣田	碩学舎	2640	4502693006
-----	------------	-------	-----	------	------------

参考図書

その他

教科書は参考程度に使用するため、希望者のみの購入で差し支えない。
 具体的には、1-1グランプリへの参加する予定であり、そのため企画をグループごとに実施していく。

授業計画

授業時間以外にイベント参加のための活動を行うため、各自スケジュールの調整が必要となる。
 以下は一般的な流れで記載した授業予定であり、プロジェクトの進行具合によって内容は変更の可能性がある。

- 第1回 商品企画プロセス
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第2回 インタビュー法
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第3回 競合法
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第4回 リポートユーザー法
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第5回 アイデア創出
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第6回 コンセプト開発
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第7回 プロトタイプング
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第8回 市場規模の認識
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第9回 競合・技術の確認
 テーマに関する予習・復習2時間づつ
- 第10回 顧客ニーズの確認
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第11回 販促提案
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第12回 価格提案
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第13回 チャネル提案
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第14回 企画書作成
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間
- 第15回 プレゼンテーション
 テーマに関する基本的な用語の予習 2時間
 授業内容に関連するニュースやHPの閲覧 2時間

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を発見する力と分析する力を身につけることで、生活者（消費者）の視点に立って物事を捉えるマインドを養うことができる。また、企画を立案する際には、供給者（企業）の視点に立ってさまざまな資源を組み合わせて、ライバルとの関係性を考慮する力を養えるだろう。両者を同時に併せ持つことで、より包括的な思考ができる人材となる。このことは、企業マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につけるというプログラムでポリシーの運用に貢献する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

宿題の提出、授業中の小レポートにはキャンパスクロスを使用する。そのため、スマートフォンやパソコンなどインターネット接続が可能な端末の携帯が必須となる。余裕を持って準備したけようをお願いしたい。
 なお、手書きでの提出となる場合もある。

実務経験の有無及び活用

備考
